

【第3学年】児童の課題及び授業改善策

＜平成31年度＞

	児童の課題	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分の経験したことや考えたことについて話したり聞いたりする力に個人差があり、苦手な児童への指導が必要である。 ◆ 既習の漢字の使い方の定着を図る指導をさらに行う必要がある。 ◆ 文章を書く力に個人差があるので、苦手意識の強い児童には個別の支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対話やグループで話し合う場を意図的・計画的に設定し、自分の考えを話したり、相手の考えを聞いたりする機会を増やす。 ○ 朝の会などの場で、継続的にスピーチに取り組んだり、対話力スキルアップタイムを活用し、質問したりするなど会話をつなぐ力を育てる。 ○ 漢字ドリルを活用し、継続した練習に毎日取り組ませ、小テストを繰り返し行い漢字習得の定着を図る。また、ノートのマス目に文字を丁寧に書く指導を日常的に行っていく。 ○ 自分の考えを整理して分かりやすく伝えるために、書きたいことを明確にもつことや手本となる文章を示し、視写させることで書き方を身に付けさせる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 資料を読み取り活用する能力に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的な地図の活用の仕方や資料の読み取り方法について指導する。 ○ 学習のまとめとして新聞を書いたり、工夫して発表したりする事を通して自分の考えをもたせる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分の考えをもち、確かめ、他に伝える論理的思考に個人差がありさらに身に付けていきたい。 ◆ 四則計算を苦手とする児童がいる。基礎的な力をつけていくためにじっくりと取り組む時間をとる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理解を深めるために絵や図、数直線図を活用する等、数学的活動を積極的に取り入れる。また数直線図やテープ図の利点を理解させ積極的に活用しようとする姿勢を育てる。 ○ 東京ベーシック・ドリルに週一回取り組み、反復練習を通して計算力の定着を図る。 ○ 個別指導が必要な児童へは、個別の課題を明確にし放課後チャレンジ教室等を活用し理解を深めさせる手だてとする。 ○ 毎日の家庭学習として、計算ドリルの反復練習に取り組みせていく。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 身近に見られる動物や植物の観察をする際に、細部までじっくり観察することに課題がある。比較しながら調べたり、疑問をもって課題解決していったりする経験を意図的に設定していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察の視点、表現の仕方や実験方法などの基礎・基本の定着を図る。 ○ ノート指導などを通して探究の過程の流れを身に付けさせる。 ○ 体験活動を多く取り入れるとともに、映像、写真等の視覚教材を活用することによって解決への手だてとする。
総合	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自ら課題を設定する力や、課題解決の見通しをもつ力を育てていきたい。それらの力を育てるための具体的な指導が必要である。 ◆ 自分の考えをわかりやすくまとめ、発表する力を身に付けていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積極的に地域に出るなど体験的な活動を多く取り入れることで、意欲的に取り組む工夫をする。 ○ 事前に計画を立てる等の学習方法や資料の収集方法、結果のまとめ方を具体的に指導し、国語の学習を生かしながら発表する方法などを丁寧に指導する。 ○ 社会、理科、国語との関連学習を工夫し、カリキュラムマネジメントを計画的に行うことにより、主体的に学ぼうとする姿勢を育てる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 意欲的に楽しく活動に取り組んでいる児童が多いが、表現の仕方を自分から考え工夫したりすることのできる児童は、まだ少ない。 ◆ リコーダーへの興味・関心が高く、意欲的に取り組んでいるが、タンギング・運指の十分でない児童への指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一人の表現を認め、よい意見や表現の工夫を紹介し、全体に広げ互いに学び合い高め合えるような指導の工夫をする。 ○ 思ったことや感じとったことは、比べ合ったり、発表し合ったりし、自分と他とを比較・共有できるような学習活動の工夫をする。 ○ リコーダーでは、児童の実態に応じた個別指導と、反復練習を行い、ペア学習、グループ学習など互いに教え合う場の設定をする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 意欲的に楽しく活動に取り組んでいる児童が多い。 ◆ 学習のめあてを意識し、表現方法を自分なりに工夫する力を育てていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動の流れをスモールステップで掲示し、より主体的に自信を持って活動できるようにする。 ○ 様々な材料や、いろいろな道具を使う経験ができるような題材設定を工夫する。 ○ 友達と作品を見合い、お互いのよいことなどを伝え合い、創作意識を高めるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 技能を習得するために考え、工夫することが苦手な児童が多く具体的な手だてが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な技能を指導し、友達同士で話し合い、教え合う時間を多く設定することで技能や思考力・判断力・表現力を向上できるようにする。 ○ 個人の体育ノートやチームカードの活用により運動のポイントを明確にする手だてとし、自分の活動をしっかりと振り返らせていく。